

平成29年度

医薬品包装セミナー

これからの医薬品包装が目指す 安全・安心・使いやすさ

日時 平成30年3月23日(金)

会場 (公社)日本薬学会 長井記念ホール

主催 公益社団法人日本包装技術協会

プログラム Program

| 時間 | 講演内容 | 講師 |
|---------------------|---|---|
| 10:00 ▼ 11:10 | <p>◆「開封強度」によるCR包装容器の考え方</p> <p>子どもに対する安全性を高めるためのCR機能の実効性を評価するために、米国では包装容器やライターを対象にチャイルドパネル試験が行われている。しかし、この試験には倫理、再現性、そしてコストなど、原理的に避ける事ができない問題がある。このため、パネル試験に代わる力学試験の導入が望まれている。</p> <p>本講演では、力学試験導入の可能性を検討するために、子どもの身体能力データやパネル試験の結果からCR製品の力学的要件(基準値)を議論する。</p> | <p>産業技術総合研究所 人間情報研究部門 デジタルヒューマン研究グループ 研究グループ長 多田 充徳 氏</p> <p>コーディネーター 株式会社エーエー包装技術開発研究所 包装技術二グループ マネージャー 中西 洋文 氏</p> <p>全業工業(株) OTC開発部 包装企画課 課長 溝呂木 太郎 氏</p> |
| 11:20 ▼ 12:30 | <p>◆「医薬品の包装・ボトルに薬局が感じる表示改善」</p> <p>医薬品の包装表示については、かつては法定表示の記載を意識するだけの時代もあったようであるが、近年では少しずつ改良や工夫がされるようになってきた。包装表示については、大きくは3つの視点がある。1つ目の視点は、医療過誤の防止等の医療安全である。これは主に調剤過誤などの防止が主眼であるが、薬剤の濃度のわかりやすい記載など容量の表示や医薬品名の明記である。2つ目の視点は、食品同様に患者の用途と言う点である。味や苦味等の味覚、嚥下困難者への対応状況、さらには服薬アドヒアランスに対応した表示などである。3つ目の視点は薬剤の扱いやすさである。液剤であれば、液グレシにくいピンの口の構造であるとか、顆粒や細粒であればボトルからの取り出しやすさ、保管方法の表示である。これらは、当然コストとの兼ね合いでもあるが、意外に患者の服薬アドヒアランスは、薬の効果に影響したり、扱いやすさは薬局の採用を左右することもある。医薬品という、薬そのものの性能に目がいきがちであるが、薬はきちんと飲まなければ効果はでないし、忙しい医療現場では間違いにくく調剤しやすい薬の方がはるかに重宝される。ジェネリック医薬品や同種同効薬の競争が激しいわが国では、超高齢化社会とも相まって、今後は医薬品の包装表示についても開発・改良が進んでいくと考えられる。</p> | <p>株式会社パスカルシステム 代表取締役 横井 正之 氏</p> <p>コーディネーター 岡田紙業(株) 営業第1部 次長 堤 正一 氏</p> <p>ゼリア新薬工業(株) 生産技術部 液剤・軟膏グループ 課長 小俣 康司 氏</p> |
| 13:30 ▼ 14:40 | <p>◆「偽造医薬品の実態と対策について」</p> <p>医薬品の流通がさらにグローバル化する今日、偽造医薬品問題は地域を選ばず発生しており、地球規模で解決すべき課題のひとつとなっています。偽造医薬品の存在は、人々の健康を脅かすだけでなく、医薬品の安全性や有効性に対する信頼を損なわせ、数兆円にも上る経済的損失をもたらします。2017年1月、医薬品正規流通網上に偽造医薬品は存在しないと考えられていた日本において、保険薬局から1ボトル約150万円のC型肝炎治療薬ハーボニーの偽造医薬品が発見され、日本の医薬品に対する信頼が失墜すると同時に、偽造医薬品に対する意識の不足、対策の脆弱さが浮き彫りとなりました。今や、日本も偽造医薬品を免れません。</p> <p>今回は、私どもが偽造医薬品の撲滅に向けて取り組んでおります世界の動向調査や国際流通する医薬品の調査・分析結果をまじえて、偽造医薬品の実態、対策ならびに今後の課題についてお話しいたします。</p> | <p>金沢大学 医薬保健研究域 薬学系 助教 吉田 直子 氏</p> <p>コーディネーター 中外製薬(株) 生産工学研究部 製剤技術担当 包装グループ 中野 雄仁 氏</p> <p>大日本印刷(株) 包装事業部 技術開発本部 製品開発部 第1課 古宮 徳子 氏</p> |
| 14:50 ▼ 16:00 | <p>◆「在宅医療における医薬品の使用実態及び容器／包装に関する問題点と要望」</p> <p>日々の在宅訪問業務の中で、患者様が実際に医薬品を使用される場面に遭遇することがあります。たとえば薬局内で良いと考えて選び抜いた医薬品であっても、患者様や介護者の満足を得られるかという点、必ずしもそうではありません。病院のように医療体制の整った環境であれば医療中心の治療が行われていくのですが、在宅における医療の立ち位置は、あくまでも生活の一部にすぎません。つまり、実際に生活している人たちが使いやすい医薬品であることが求められています。</p> <p>今回は、医薬品を調剤する薬剤師の立場からの意見と、在宅で医薬品を使用されている患者様、介護者からの声をご紹介します。</p> | <p>メディソンショップ蘇我薬局 管理薬剤師 雑賀 匡史 氏</p> <p>コーディネーター 第一三共プロファーマ(株) 第三製造部 部長 片山 通博 氏</p> <p>藤森工業(株) ライフサイエンス事業本部 三重事業所長 兼 研究所 グループリーダー 鈴木 豊明 氏</p> |

講師のご紹介

多田 充徳(タダ ミツノリ)氏

産業技術総合研究所 人間情報研究部門
デジタルヒューマン研究グループ
研究グループ長
【ご略歴】
2002年4月:産業技術総合研究所 デジタルヒューマン研究ラボ CREST研究員
2010年4月:同所 デジタルヒューマン工学研究センター 研究チーム長
2015年4月:同所 人間情報研究部門 デジタルヒューマン研究グループ 研究グループ長

横井 正之(ヨコイ マサユキ)氏

株式会社バスカルシステム
代表取締役
【ご略歴】
1986年 京都大学薬学部卒業
2002年 積水化学工業株式会社 退社
2002年 株式会社バスカルシステム 代表取締役
2011年 立命館大学 薬学部 非常勤講師
(有資格)医薬品情報専門薬剤師、消費生活アドバイザー
(著書)日経Dクイズ19、かかりつけ薬剤師の対人業務、臨床調剤学、賢いジェネリック医薬品との付き合い方

吉田 直子(ヨシダ ナオコ)氏

金沢大学 医薬保健研究域
薬学系 助教
【ご略歴】
2003年 3月 富山医科薬科大学薬学部薬科学科卒業
2005年 3月 富山医科薬科大学大学院薬学研究科臨床薬学専攻博士前期課程修了
2006年 11月 浜松医科大学医学部附属病院薬剤部 薬剤師
2008年 3月 富山医科薬科大学大学院薬学研究科臨床薬学専攻博士後期課程修了
2009年 11月 金沢大学医薬保健研究域薬学系 助教(有資格・学位等)薬剤師、博士(臨床薬学)、日本臨床薬理学会認定薬剤師、第一種衛生管理者

雑賀 匡史(サイガ マサシ)氏

メディスンショップ蘇我薬局
管理薬剤師
【ご略歴】
2007年3月 東邦大学院 臨床病態学研究室 卒業
2007年4月 Canada Edmonton University of Alberta (カナダ エドモントン州 アルバータ大学)薬学部 留学
2009年4月 山王病院 入職
2010年8月 山王病院 退職
2010年9月 メディスンショップ蘇我薬局 入職(有資格)認知症ケア学会 2014年 認知症ケア専門士
取得
介護支援専門員(ケアマネジャー) 2017年 取得
(著書)ウェブ:みんなの介護 介護の教科書 連載中

開催要領

日 時:平成30年3月23日(金) 10:00 ~ 16:00
会 場:(公社)日本薬学会 長井記念ホール
東京都渋谷区渋谷2-12-15 日本薬学会長井記念館B2F
参加費:会員20,520円(消費税8%、テキスト代含む)
*同時に3名以上でお申し込みの場合には割引価格として1名 16,740円
一般28,080円(消費税8%、テキスト代含む)
定 員:100名

お申し込み方法

- 本誌申込書に必要な項目を全て記入の上、FAXにてお申し込み下さい。
協会HPからのお申し込みも出来ます。
協会HP:<http://www.jpi.or.jp>
- 申込みされた方には後日参加証と請求書をお送りします。
- 開催1週間前からの参加費の払い戻しは致しません。
申し込まれた方が都合が悪い場合、代理の方の出席は差し支えありません。
(当日、名刺をご提出いただきます。)

お問い合わせ並びにお申し込み先

公益社団法人日本包装技術協会 医薬品包装セミナー係
担当:竹内
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
TEL. 03(3543)1189 FAX. 03(3543)8970
e-mail: takeuchi@jpi.or.jp

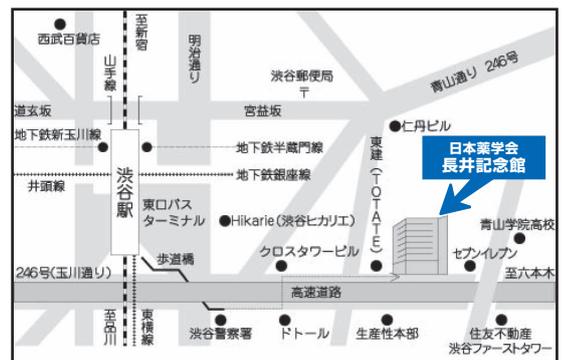
【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「平成29年度医薬品包装セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。

会場案内図

■会 場:長井記念ホール
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-15
日本薬学会長井記念館B2F
TEL.03-3406-3326

- 交通手段
- ・JR渋谷駅(東口)より高樹町方面へ高速道路3号線沿い徒歩10分
 - ・東急東横線、東急田園都市線、京王井の頭線、東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線の渋谷駅より徒歩10分



平成29年度医薬品包装セミナー参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 竹内 行 FAX.03(3543)8970 No.

| | | | | | | |
|------|------|------|--|-----|--------|--|
| 会社名 | | | | | | |
| 所在地 | (〒) | | | | | |
| 電 話 | | | | FAX | | |
| 参加者名 | 氏名 | 所属役職 | | | e-mail | |
| | 氏名 | 所属役職 | | | e-mail | |
| | 氏名 | 所属役職 | | | e-mail | |